JAPAN EAST REGION
ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
The International Association of Y's Men's Clubs

Change! 2022 ニュース

No. 36

Change! 2022 推進委員会　2022. 6. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「 第25回 東日本区大会に思う 」

東日本区事務所所長
小林 隆（沼津）

2022 年 6 月 4～5 日、第 25 回東日本区大会（宇都宮）が開催されました。コロナ禍の中で、従来の大会から完全オンライン Zoom 開催へと進化し、大きな感動を与えていただきました。

原稿締め切りギリギリでの執筆作業中でしたが、急遽この感動大会の内容に変更しました。

東日本区大会の2日間を通じて感動したことは、YMCA やユース活動を主体にしたプレゼンテーションでした。YMCA 同盟のウクライナ支援活動では、100 名以上の避難者の受け入れを行っていました。とちぎ YMCA ユースによる、つぼみ食堂の子どもたちへの支援活動には、素晴らしい感銘を受けました。私たちワイズメンズクラブの最も重要な活動である YMCA への支援の大切さを改めて思い知らされました。

私の所属する沼津ワイズメンズクラブでは、若者への支援活動として、「外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」を行っています。2016 年より開始し、コロナ禍もあり、今年で4回目の開催となりました。主に地元大学や日本語学校へ通う東南アジアの留学生から募集しています。

目的は、◇日本語能力向上でグローバルな活躍の場を広げる。 ◇日本語を学ぶ機会や交流の場を広げ、国籍・文化の違いを超えて、共生できる社会づくりを目指す。

第1回は 5 名、第3回は 12 名、今年 2 月の第4回はコロナ禍 Zoom 開催にも関わらず 8 名の参加がありました。やっと軌道に乗ったプログラムとなりました。2019 年の第3回では 12 名の参加でしたが、友達の輪が広がり、応援団が 20 名以上集まり、大盛況のコンテストとなりました。

「会員増強に思う」という題名を Change! 2022 から頂き悩みました。私はワイズのモットーであるYMCAへの支援がワイズメンにとって一番と思っています。若者やユースを巻き込んだワイズ活動を継続することがYMCA や地域社会への支援となり、ワイズの目的につながるのではないでしょうか。そして、この地道な活動を持続することが、若者たちや地域社会からの共感や支持・支援を得ることができると考えています。

「外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」では、地元企業 4 社から 10 万円の支援金がありました。これは、コンテストの目的に共感した企業からでした。この輪がもっともっと広がった先には、会員増強のヒントがあるように思います。この意味からも、Change! 2022 で推進している SNS 拡充による一般への地域支援活動実践の広報が大切になっています。

【静岡YMCA 2019 年日本語スピーチコンテスト】

【2022年静岡YMCA 日本語スピーチコンテスト Zoom】

≪ 小林 隆さんのプロフィール ≫

1952年8月8日	静岡県三島市生まれ
2001 - 2002年度	沼津クラブ入会
2004 - 2006年	クラブ会長
2007 - 2008年	富士山部会計(長谷川等部長年度)
2020 - 2022年	東日本区事務所所長

▼ (仮)甲府やまなみクラブ設立経過

設立準備委員会委員長
仙洞田 安宏（甲府）

▼ 新クラブ構想の原点

2015-16 年度に東日本区書記をした際、その年度の会員増強事業主任から、「それぞれの部で新クラブの設立を想定してみよう」という“仮想クラブ”構想の呼びかけがありました。その時、今の甲府クラブだったらどういうクラブを作れるだろうか、と考えました。

これまで EMC に貢献をされてきた先輩会員が高齢となり、積極的な活動が困難になった状況下、「新天地」へエクステンションするエネルギーはとてもないと思いました。そこで考えたのが、身近で今活気に溢れている甲府駅北口地域への奉仕を目的としたクラブでした。

2017 年 5 月の私のメモに新クラブの構想が書いてあります。

① クラブ 70 周年記念事業とする。
② 甲府駅北口の特性(歴史・文化の集積)を活かした活動を通してまちづくりに貢献する。
③ 若い世代が活動しやすいクラブ運営をする等です。

▼ 甲府クラブの伝統とレガシーの継承

甲府クラブは過去、周年記念毎に新クラブを設立してきました。また毎年のように会員増強委員会の計画として「新クラブ設立を模索する」を掲げてきましたので、これを実行する好機と考えました。

2020 年に創立 70 周年を迎えることから、その記念事業の実行委員会を組織することになり、その中に「新クラブ設立準備委員会」を設け、委員長に仙洞田が選任されました。

▼ 追い風と向かい風

2019 年 5 月から、4～5 名で「準備会」をスタートしました。これらの人は最初から新クラブのメンバーになる意志があったので、ワイズの説明より、新クラブの方向性や運営、会員獲得等の議論が中心でした。新たな会員候補者の獲得には苦戦していましたが、追い風となったのは、国際協会で定められていた新クラブの会員数が 5 人以上へと引き下げられたこと、そして“Change! 2022”の存在です。この中の「アクションプラン」の具体的な提案は、新クラブ構想時に考えていたことと一致する点が多々あり、背中を押される思いでした。

【第9回準備会：山梨県立大教授から「山梨県立大学の地域貢献」についての卓話を聴く】

「準備会」は 2020 年 2 月(10 回目)まで毎月開催してきましたが、新型コロナウイルスという向かい風に遭遇し、11 回目を開催したのは 8 ヶ月後の 10 月でした。その後も準備会として最後となる 15 回目は 2021 年 12 月までを費やしました。途中、新クラブの事業の参考にするため、大学教授や市議会議員の卓話を聴いたりしました。

【第12回準備会：甲府市議から「こども食堂」についての卓話を聴く】

徐々に会員候補者が増え、当初の目標の 10 名に近づいた事から、本年 1 月からは「仮例会」とし、この中でワイズの歴史や組織、おもな事業について説明しました。新クラブのメンバーは、北口まちづくり委員会の関係者、JC(青年会議所)の OB など、10 名で構成されています。

▼（仮)甲府やまなみクラブ設立総会に参加

会員増強事業主任　大川 貴久（熱海）

先ず初めに「甲府やまなみクラブ設立」誠におめでとうございます。

6月11日(土)、天候を気にしながらChange! 2022栗本治郎委員長と甲府へ向けて出発。設立総会は甲府のホテル談露館にて、18時より開会点鐘。続いてスポンサークラブの石川和弘会長(甲府)挨拶、設立経過報告を仙洞田安宏設立準備委員長(甲府)。設立総会の議事に続き、祝辞は板村哲也東日本区直前理事(東京武蔵野多摩)、大川貴久東日本区会員増強事業主任(熱海)、長谷川あや子あずさ部部長(東京八王子)の各ワイズ。そして出席者紹介、新クラブ会長挨拶と続き、集合写真を撮ってから懇親会(コロナ禍によりアルコールは無し)。参加者は40名限定で行われました。

(仮)甲府やまなみクラブの誕生は、2015 年より始まり、2017 年には形が見え始め、2017 年 7 月の定期総会で承認され、2020 年に甲府クラブ創立70周年を迎えることから、その記念行事としての意味も含めて体制を整えた所にコロナウイルスに遭いながらも、準備会、仮例会を積極的に進め、2022 年 6 月 11 日に設立総会が開催されました。

(仮)甲府やまなみクラブのメンバーは40代が3名、50代から80代まで6名、担当主事1名の10名で構成され、藤原一正会長(40代)はJCを卒業したばかりで、職業は中小企業診断士と言う人脈豊富な方です。もしかすると、チャーターナイトの時はこの人脈でメンバーが増えているかもしれません。9月3日(土)が楽しみです。

私の予定表には赤字で「甲府やまなみクラブチャーターナイト」と記載してあります。皆様もこのニュースを見たら予定表に書き入れてください。

最後に、会員増強事業主任としてリアルで挨拶できたのが、甲府やまなみクラブの設立総会が最初で最後となってしまいました。一年間あまり活動が出来ませんでしたが、皆様には色々お世話になりました。ありがとうございました。

【設立総会で長谷川あずさ部部長が祝辞を述べる様子】

【栗本委員長から藤原会長へお祝いと動画カード贈呈】

▼ 会員増強事業表彰 区大会で発表

会員増強事業主任　大川 貴久（熱海）

第 25 回東日本区大会は 6 月 4～5 日、宇都宮クラブのホストでホテル東日本宇都宮において開催する予定でしたが、コロナ感染が収まらず、Zoom による開催となりました。

大会 2 日目には各事業の報告と表彰が行われ、会員増強事業表彰は下記の通りに発表いたしました。

【Zoom 画面で表彰を発表する様子】

EMC特別賞

甲府クラブ（甲府やまなみクラブの設立に尽力）

新入会員獲得 クラブ部門

▼**最優秀賞**：甲府21（6 名獲得）

▼**優秀賞**：所沢（4 名獲得）

▼**努力賞**（2 名獲得）：石巻広域、東京むかで、東京町田コスモス、東京多摩みなみ、鎌倉、熱海、熱海グローリー、御殿場

新入会員獲得特別賞 個人部門

▼**最優秀個人賞**：宮岡宏実さん（甲府21）6 名

▼**優秀個人賞**：大澤和子さん（所沢）4 名、綾野憲夫さん（熱海グローリー）2 名

出席率表彰部門

▼**出席率最優秀賞**（99%）：千葉ウエスト、東京西

▼**出席率優秀賞**（90%以上）：東京町田スマイリング（97%）、三島（95%）、横浜つるみ（94%）、横浜とつか（92%）、横浜つづき（92%）、東京八王子（91%）、熱海グローリー（91%）、御殿場（91%）、東京むかで（90%）、東京世田谷（90%）、下田（90%）

ノンドロップ賞

札幌、北見、十勝、前橋、仙台青葉城、足利、宇都宮東、もりおか、千葉、所沢、川越、千葉ウエスト、東京センテニアル、東京西、松本、富士五湖、横浜、鎌倉、金沢八景、横浜つるみ、沼津、熱海グローリー

SNS、HP、QRコード活用賞（アクセス数 100 回以上）

熱海（155 回）、甲府21（133 回）

表彰の発表に先立って、『東日本区会員の皆様へお願い』という画面で、次のようなアピールをしました。

『東日本区の平均年齢をご存じですか？ 2020 年 7 月現在で 65.3 歳です。このままで行くと、ワイズの 10 年後（**2032 年**）はどうなるのだろうかと暗澹たる気持ちになるのは私だけだろうか。私だけではなくワイズメンバーの皆様は「心の奥底に、このままではワイズに明るい未来は見えない」と薄々感じていると思う。そこで、これからの宿題として、長期計画を立てて、次世代に引き継がれるよう**若返り**が必要です。東日本区、各部、各クラブ情報を共有しながら若返りを図っていただきたいと思います。』　【下図＝各部の会員数の推移】

【会員異動状況】2022/04/30現在

部	2020 1/1	2020 7/1	2021 1/1	2021 7/1	2022 1/1	2022 4/30	入会	退会	直近増減
北海道部	45	46	46	45	46	46	0	0	0
北東部	139	132	136	135	133	133	1	1	0
関東東部	134	132	137	132	130	132	6	4	2
東新部	91	88	89	84	81	82	1	0	1
あずさ部	180	166	171	171	171	172	1	0	1
湘南・沖縄部	106	101	97	82	83	85	2	0	2
富士山部	180	165	162	151	151	148	0	3	-3
東日本区合計	875	830	838	800	795	798	11	8	3

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任　大川 貴久（熱海）

5 月には、下記の方が入会されましたので報告します。

No.	新入会者	（クラブ名）	紹介者
1．	福山 平	（甲府21）	宮岡 宏実
2．	早乙女 操	（宇都宮）	大久保 知宏

≪入会候補者向けにワイズの魅力を紹介！≫

ワイズ・ナイトフォーラム

第6回　6 月 25 日（土）20:00～22:00　Zoom

卓話者：NPO法人 SalamatA & Philippines Sky Light Project（PSP）

『ともに希望の絵本・ともに奏でる教科書・海をこえて届ける！』

パネルディスカッション：東京多摩みなみクラブ

『オンライン・プランター講座について ～コロナ禍で生まれた地域奉仕事業～』

下記は参加用アドレス、下は参加申込 QR コード

https://us06web.zoom.us/j/86832303212?pwd=d3NVQkNYM0NIK0ZEaXRONEFuaVVvUT09

Y's Night Forum 参加QRコード